#### 新須磨病院 院内報

# 毎週月曜日発行 ひとり新聞 平成17年(2005年)9月12日創刊

No.891 令和4年(2022)11月7日(月) 2022-44号

発行責任者:院長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp

# 「年輪」

No.891



#### ◆コロナ関係

新規感染者数は6,7万人を推移しています。北海道や東京では増加が顕著です。海外で主流になりつつある、BBQ(バーベキュー)ならぬ「BQ・1」や「XBB」などの新たな変異株の割合も増え始めています。

コロナとインフルエンザの同時流行で最悪75万人/日との予測もあります。予断は許しません。

#### ◆もうひとつのウイルス感染

ランサムウエアという身代金要求型のコンピューターウイスルにより、病院の電子カルテがサイバー攻撃を受け、被害がでている医療機関が増えてきました。

先日、大阪急性期・総合医療センターがその攻撃を 受け、通常診療ができなくなり、大きな影響がでていま す。当院は、システム担当者を中心に、関連会社と連 絡をとりながら、セキュリティ強化に努めています。

Wi-Fi環境へのアクセス制限、持ち込みデータのチェック強化など、厚労省の指針にのっとり対策を検討中です。利便性が損なわれることもあると思いますが、システム保全上の処置と理解してください。



成功者が身につけておく べきこと 松下幸之助

- ・可愛げ
- 運が強そうなこと
- •後ろ姿

昔、松下幸之助は面接で「あんたは運が強いか?」と聞いていたそうです。

人間はどんなに賢くても、自分の背中をみることはできません。前面は取り繕うことができても後面はその人の「素」がでます。

神戸で一番 親切で 丁寧で



# ◆私の本棚

・老害の人

内館 牧子 講談社

終わったひと、今度生まれたら、すぐ死ぬんだから、など中年から老人の日常を面白おかしく描き、ヒット作を連発しているシリーズの第4作目。今回は80歳以上の高齢者の実態を描いた作品。

認知も若干進行してきたこの年代の特徴は、昔 自慢、孫自慢、同じ話を繰り返す、すぐに怒り出 す。そのような時間をもてあます老人たちが、老人 のためのサロンを作ることで、交流が広がりいきい きとする。教養ではなく「今日用がある」、教育で はなく「今日行くところがある」ことが、老人を活性 化させるわけで、そのことを西舘節で飽きさせるこ となく描いている。気軽に読めて、納得する作品。



### 慈恵会グループの紹介® 介護老人保健施設 「いきいきの郷」

1999年に設立しました。2000年に始まった介護保険による入所施設で定員は80人です。あとで開設した新須磨リハビリテーション病院と接続して、病院の併設型の老健としました。

超高齢化社会となり、要介護老人は増加の一途です。核家族化のため、国が推進している在宅介護は容易ではありません。今後、施設介護の必要度はますます高くなってくると考えています。

地域包括ケアシステムが策定され、急性期、回復期、慢性期と、医療と介護の間断のない提供が求められており、新須磨リハビリテーション病院と併せて、急性期からの受け皿としての重要性は増しています。また、介護士不足を補うために、ネパールからの実習生を4人受け入れています。

須磨区で老舗の老健「いきいきの郷」への期待は 高くなっています。

## ◆今週の院長予定

# 優しい医療を

11月7日 月	8:00運営会議、13:00~15:00来客、17:30医局会
11月8日 火	9:00外来、14:00手術、16:00ハイパーサーミア見学(モーリシャスより)、17:30業務改善委員会
11月9日 水	松江
11月10日 木	9:00~11時来客、14:00来客、16:15神戸校運営会議
11月11日 金	9:000外来、14:00手術
11月12日 土	9:45新須磨クリニック健診業務、午後休暇